

# 誰もが希望する生き方で輝く社会へ ～ 固定的な性別役割分担意識\* について考えてみよう～

\*「男性は仕事、女性は家庭」というような、性別によって役割を固定してしまう考え方や意識



近年、若者の県外流出が顕在化しており、特に女性の転出者数は男性の約1.5倍と大きく上回る状態が続いています。

県では、男女共同参画の視点から、性別にかかわらず、県民誰もがいきいきと暮らし働ける環境づくりに取り組んでいます。今年度は、女性がどのように考え、どんなニーズがあるのかを調べました。始めに、そのリアルな声を紹介します。

## 山形県の女性の暮らし方、働き方に関する調査

### ◆家庭での役割分担について

- 1位 家事や育児は、夫婦で共に行うのが良い(86%)
- 2位 男性も家事・育児に積極的に関わったほうが良い(79%)
- 3位 家計は夫婦で担うのが良い(75%)

### ◆仕事や暮らしで感じたモヤモヤ

- 1位 女性への家庭責任の偏り(63%)
- 2位 狭いコミュニティによる息苦しさ(54%)
- 3位 「男性だからこうあるべき、これは女性の仕事」といった固定観念や慣習(52%)

〈調査概要〉 期 間:令和3年11月  
方 法:インターネット  
回答数:県内外の女性1,121人

山形県は、女性の約8割が家庭の外で働くなど社会参画が進んでおり、夫婦で共に仕事をしながら、家事・育児を分かち合うことを希望する方が多数派となっています。一方で、半数以上の女性が、家庭における責任に偏りがあること、性別による固定観念や慣習などに違和感を抱いているという実態が明らかになりました。

調査結果の詳細や参加者の声は▼



それでは、家庭責任の偏りの解消や、違和感を払拭するためには何から始めたら良いのでしょうか

## 個人では・・・男女ともに、仕事も家庭も大切に

若い世代は、仕事と、自分や家族との生活のどちらも大切にしたいと願っています。けれども現実には、男性は仕事中心、女性は生活中心になりがちではないでしょうか。従来の固定的な性別役割分担を見直し、「男女ともに家計を支え」「男女ともに家事・育児・介護をする」ことが今、必要なのです。まずは、パートナーや家族と「仕事と生活のバランス」について話し合ってみませんか。個人や家庭そして地域の「生活」を支えるケア労働を男女がともに担い、恵まれた自然環境や食を生かして、豊かで幸せな暮らしをつくっていきましょう。



県男女共同参画センター・チェリア 伊藤真知子館長

## 会社では・・・誰もが働きやすい職場づくりを

いきいきと働ける職場づくりには、「その人らしさ」を大切にしつつ、能力を発揮できる環境が大切です。多様な人材を生かすヒントとして、今注目されているキーワードが、誰もが持っている「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」です。

- 例えば、こんな風に思い込んでいませんか？
- リーダーは男性の方が向いている
  - お茶くみは女性がする方が良い

こちらのサイトで「思い込み度」を確認できます。まずは、ご自分や自社の意識をチェックしてみてください。そこでの気づきが、誰もが働きやすい職場への第一歩。経営者の方も、働く皆さんと一緒に考え、取り組んでみましょう。



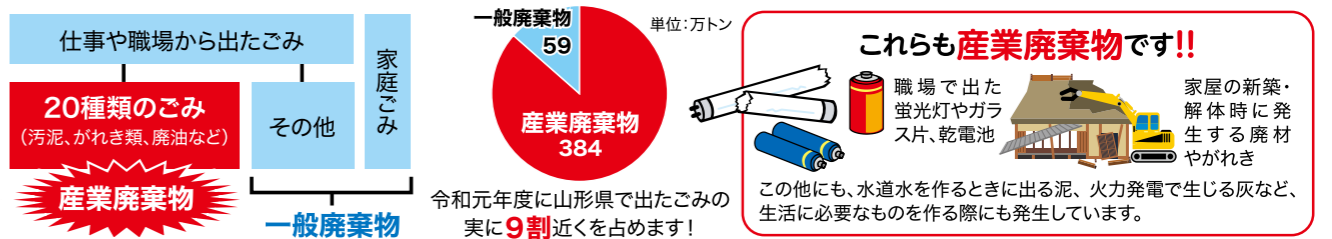
▶問い合わせ ◎ 女性・若者活躍推進課 ☎023-630-3269

# ご存じですか？ 産業廃棄物のこと

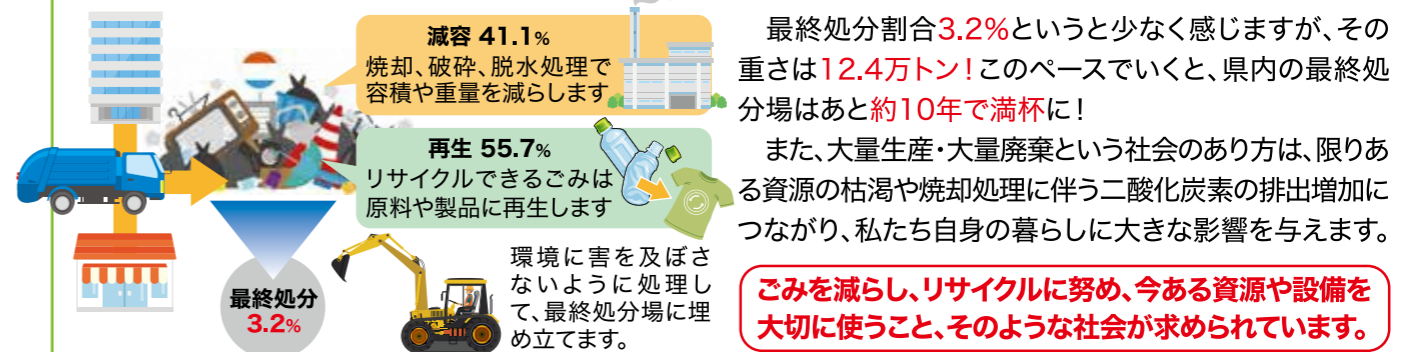


皆さんは「産業廃棄物は工場から出るごみ、自分を出していない。」と思いませんか？  
実は、私たちが普段の暮らしの中で気づかずに排出している産業廃棄物。その正体に迫ります！

そもそも**産業廃棄物**とは？ 家庭以外で出たごみのうち、法令で定められた20種類のごみです。



## 産業廃棄物の処理の流れ



そこで、県では**産業廃棄物税**を活用して循環型社会の推進に取り組んでいます！

## 産業廃棄物税とは？

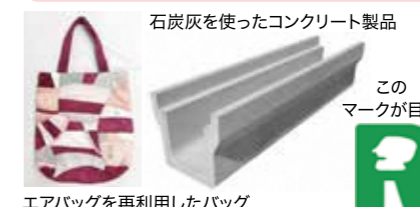
産業廃棄物の適正処理を進める取組み等に活用するための税金です。産業廃棄物の排出者に最終処分時の埋め立て量1トンあたり1,000円をご負担いただいています。例えば、こんな取組みに使われています。

### 資源循環型社会の実現に向けた啓発活動



やまがた環境展の開催

### 資源の循環を担う産業の振興



石炭灰を使ったコンクリート製品  
エアバッグを再利用したバッグ  
山形県リサイクル製品の認定

### 廃棄物の適正処理による環境負荷の低減



不法投棄された廃棄物の回収

私たち産業廃棄物処理業界は、環境を守り産業を支える重要な社会インフラ企業として、今後も法令を遵守し、廃棄物を適正に処理していきます。県民の皆さんもごみの分別や減量など、身近なことからご協力をお願いします。



(一社)山形県産業資源循環協会 会長 黒澤利宏 さん

### 私たちが日頃の生活でできること

- 商品は必要な分だけ買い、大事に長く使う
- リサイクル製品や環境に配慮した商品を選んでごみ削減やリサイクルに取り組む事業者を応援
- リサイクルがしやすくなるよう、ごみをきちんと分別
- 節水・節電(水の出しっ放し、電気のつけっ放しに注意)
- 不法投棄は犯罪! 許さない目を地域の皆で持つ

リデュース(ごみになるものを減らす)、リユース(繰り返し使う)、リサイクル(再生利用)の**3R**を心がけて、豊かで美しい山形を守り伝えていきましょう。

▶問い合わせ ◎ 循環型社会推進課 ☎023-630-2302